学科 学年	M1 C1 D1	科目 分類	古典 Classical Japanese	講義 必修	１８後期 １履修 単位	学習教育 目標	１-A～E	担当	三澤　洋子 Misawa Yoko

概　要	まず、国語に大きな影響を及ぼした漢文の読解力を付ける。次いで、古典文学の規範である平安時代の物語文学の中から、初期の「竹取物語」を中心に、古典読解の基礎力を養う。さらに近世文学より「奥の細道」を読む。以上の学習を通じてわが国の文学的伝統を理解し、豊かな教養を養い、より広い考察力を身に付ける。
科目目標 （到達目標）	（１）古文の読解力を養う。（２）漢文の読解力を養う。（３）古典の知識をつける。
教科書 器材等	プリントによる教材
評価の基準と方法	２回の定期試験を中心に平素の学習状況から習熟達成度をみる。
関連科目	１学年から４学年までの各国語

授業計画

	参観	（授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）
第 1回		
第 2回		
第 3回		
第 4回		
第 5回		
第 6回		
第 7回		
第 8回		
第 9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		
第16回		「狐借虎威」「朝三暮四」　漢文訓読・解釈・鑑賞
第17回		「漱石枕流」「守株」　漢文訓読・解釈・鑑賞　漢文と日本文学の関わり
第18回		「混沌」「杞憂」　漢文訓読・解釈・鑑賞　日本への影響
第19回		『今昔物語集』「狼と母牛」(一)　音読・かなづかい
第20回		〃　〃　(二)　解釈・鑑賞・係り結び
第21回		『竹取物語』「かぐや姫誕生」　音読・解釈・鑑賞・用言の用法
第22回		〃　「大伴の大納言と竜の首の玉」　音読・解釈・鑑賞・用言の用法
第23回	×	定期試験
第24回		『竹取物語』「かぐや姫の嘆き」　音読・解釈・鑑賞・助動詞の用法
第25回		〃　「かぐや姫昇天」(一)　音読・解釈・助動詞の用法
第26回		〃　〃　(二)　音読・解釈・敬語の用法
第27回		〃　〃　(三)　鑑賞・敬語の用法・和歌の技巧
第28回		『奥の細道』「旅立ち」　音読・解釈・鑑賞
第29回		〃　「平泉」　音読・解釈・鑑賞
第30回	×	定期試験

オフィスアワー	出勤日の昼休み時間、非常勤講師室に在室。
アンケート対応	
備　考	教材は変更することもある。
更新履歴	